

# 一般質問通告事項一覧表

平成28年 第3回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
1	小川 不朽	北海道新幹線工事と児童生徒の通学路などの安全対策について	<p>北海道新幹線の延伸に向け、本町においても今、トンネル工事が始まろうとしている。</p> <p>8月24日、二ツ森トンネル施工を開始する旨の、事業主から周辺住民に対する説明会が開催されたと聞いている。</p> <p>町長は本定例議会の行政報告において、事業の主体は鉄道・運輸機構などとしながらも、「掘削土の搬入場所や運搬経路選定、工事説明会の周知範囲等については町としても助言してきた」と述べている。</p> <p>今般の長期にわたるトンネル工事が安全に進められることを願う観点から、以下について伺う。</p> <p>町長に伺う。</p> <p>①トンネルの掘削土砂を町有地である「花園牧場」へ受け入れることに至った経緯、それらの工事の概要（運搬の期間、運搬の掘削土砂の量、運搬経路と運搬時間帯、工事説明会の周知徹底など）について伺う。</p> <p>②重金属が掘削された場合の対処について伺う。</p> <p>教育長に伺う。</p> <p>①新幹線工事に伴い、工事車両の往来が大幅に増加することが懸念される。児童生徒の通学路におけるこれまでの安全対策に加え、今後さらなる対策が必要と考えるが見解を伺う。</p>	町長 教育長	
2	〃	旭ヶ丘総合公園内におけるMTB専用コース「フロートレイル」整備事業について	<p>7月22日付北海道新聞で「観光庁補助事業にMTBコース来月開設」の記事が掲載されている。現在工事中のようであるが、この事業についてまだ町民に対して周知されていない。旭ヶ丘総合公園としての本事業の位置づけ、目的、事業の主体、事業費、事業化の計画など、本事業の概要について伺う。</p> <p>資料として、2016年7月22日付北海道新聞記事を添付する。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
3	笠原 啓仁	「統合保育所」 「町民要望」にどう 応えますか	<p>8月19日に「倶知安町の新しい保育所を考える会」から議会に「新たな倶知安統合保育所（仮称）に関する陳情書」が出されました。新聞報道によれば、同会は700名を超える署名とともに町長に対しても同じ内容の要望書を出したとのこと。「要望書」と「陳情書」と形式は異なりますが、執行機関と議決機関それぞれに同じ内容の「町民要望」が出されたわけです。</p> <p>したがって、この「町民要望」に対し町長は町長として、議会は議会としてそれぞれ判断することとなります。同じ結論になる場合もありますし、まったく違った結論になる場合もあります。いずれにしても両者が足並みを揃える必要はまったくありません。</p> <p>「陳情」という形で受けた議会としては、どのような内容になるか、また時期がいつになるかは別にしても、それに対する結論を陳情者に示す義務を負ったこととなります。今後、「陳情」の付託を受けた特別委員会で慎重な審査が行われることになると思います。</p> <p>一方、町長の方には町民に対し「こうします、ああします」という考えを特に示す義務はありません。「だんまり」を決め込むことも可能です。しかし、町民から直接要望された問題に対しては、町長としての考えをきちんと示すことが誠意ある対応と言えます。それこそが町長の言う「町民目線で仕事をする」ことであると思います。</p> <p>町民に回答するつもりで町長の考えをお聞かせください。</p>	町長	
4	〃	「子どもの貧困」 撲滅に向けた取り組みを	<p>「こどもの貧困」はわが町にとっても軽視できない大きな問題です。全国の自治体ではその撲滅に向け、さまざまな取り組みが開始されています。そこで次の点についてお答えください。</p> <p>①「子どもの未来を応援する首長連合」への参加について</p> <p>今年6月8日、全国161自治体の首長による同連合の設立総会が開かれました。本町へも参加の呼びかけがあったと思います。お隣のニセコ町は参加しているようです。本町も参加すべきと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(4)	(笠原 啓仁)		<p>前頁より</p> <p>②実態調査について 対策を講ずるために、まず必要となるのが詳細な実態の把握です。道は、自ら策定した計画に基づいて年内に実態調査をするようです。本町としての実態調査は考えていませんか。</p>		
5	〃	「18歳選挙」 わが町の投票状況は	<p>7月10日に投開票された第24回参議院選挙は、18歳にまで投票年齢が下げられた初めての選挙でした。本町の選挙管理委員会としても、高校生を含む新たな対象者への啓発活動を展開してきました。そこで、以下の点についてご説明ください。</p> <p>①新たな対象者となった18歳、19歳を含む各年齢層（10歳単位）の投票率。 ②本町の18歳、19歳の投票率と全道、全国平均との比較。 ③選管として、初めてとなった今回の選挙の総括。</p>	選挙管理 委員長	
6	〃	「泊原発」 課題解決なくして稼働なし	<p>課題や疑問の解決なしに泊原発の再稼働はあり得ません。次の諸点はどうかになっていますか。</p> <p>1. 原発避難計画について (1)「泊地域原子力防災協議会」の避難計画について 9月3日の道新に「泊地域原子力防災協議会」が泊原発30km圏内の住民の避難計画を取りまとめた、との記事がありました。30km圏内には本町も含まれます。そこで、以下の点についてご説明ください。 ①同協議会の構成と目的 ②同協議会策定の避難計画の内容と位置づけ ③同協議会の計画と本町計画との関係 (2) 本町の避難計画について 広報9月号では「倶知安町原子力災害避難措置計画を発行しました」とあり、その計画は町のHPで公開されています。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(6)	(笠原 啓仁)		<p>前頁より</p> <p>しかしながら、町の防災担当者も「この計画は完璧なものではない」と答弁しているように、計画には不十分な点が数多くあります。</p> <p>とりわけ、次の点に関しては、極めて不十分であり、その解決なしに再稼働はあり得ません。</p> <p>どう解決しますか。</p> <p>①冬期間、とりわけ暴風雪時の避難 ②観光客の避難対策</p> <p>2. 「原子力安全確認協定」について 本町が現在締結している「安全確認協定」には、泊原発の稼働の是非（同意・不同意）に関し、本町として意思表示する権限はまったく盛り込まれていません。</p> <p>避難計画の策定を義務付けられているのですから、本町が立地4町村と同様に「安全協定」の締結対象自治体となることを北電、道、国に強く求めるべきです。当然の権利を主張することに誰の遠慮も必要ありません。町長、いかがですか。</p> <p>3. 町長の対応姿勢について 上記1、2の疑問や課題が解消・解決しない限り、本町として泊原発の再稼働を容認すべきではありません。現時点では、立地4町村と同じ「権限」を持っていませんが、本町として「再稼働は認めない」という毅然とした意思表示だけはすべきです。それが、町民の生命、財産を守る町長としてとるべき対応姿勢だと思います。町長、いかがですか。</p>		

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
7	笠原 啓仁	「百年の森」 所管替えてさらなる 有効活用を	<p>2013年の9月定例議会での「百年の森公園」の管理・運営に関する私の質問に対し、当時の福島町長は次のように答弁しました。</p> <p>「百年の森は、都市公園の特殊公園と位置づけられまして、それに伴う公園管理人となっておりますが、<u>実際にはその活動の中には風土館と連動した社会教育の業務も含まれているために、活動すべき位置づけの見直しも今後検討してまいりたいと、このように思っております。</u>」</p> <p>現在、「百年の森」は特殊公園として建設課が所管し、その管理・運営を行っています。しかし、「森」の日常的な活動は社会教育・学校教育的な要素を多分に含んでいます。実態に即した形として「森」の管理・運営を建設課から教育委員会に移行し、「森」の更なる有効活用を図るべきと思いますが、いかがでしょうか。出す方（町長）と受ける方（教育長）の見解をそれぞれお聞かせください。</p>	町長 教育長	
8	原田 芳男	就学援助について	<p>要保護・準要保護については子育てにとって重要な制度であります。特に入学進級時に要する費用は、一時的にまとまった金額が必要なところから保護者にとって大きな悩みになっています。</p> <p>3月に前倒しで支給できないでしょうか。</p>	町長 教育長	
9	〃	介護保険について	<p>介護保険の改悪が2015年4月からはじめられ、第一段階として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、要支援1, 2 ホームヘルパー、デイサービスは保険から外され、市町村の事業（新統合事業）へ移行する。</li> <li>2、特養ホーム新規入所は要介護1, 2の人は原則対象外とされ締め出される。</li> <li>3、合計所得が160万円以上（年金収入は280万円以上）の人の利用料が2割負担に引き上げられる。</li> <li>4、非課税世帯でも配偶者が住民税課税であったり、預貯金が一定額あれば介護保険施設の食費・部屋代補助の打ち切り。</li> </ol> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(9)	(原田 芳男)		<p>前頁より</p> <p>さらに次は要介護 1, 2 が狙われる。</p> <p>町長は、このような無慈悲なことはやめるよう国に強く抗議すべきではないでしょうか。</p>		
10	〃	JR 北海道の新幹線と 在来線	<p>新幹線が新函館北斗駅まで営業運転をし、倶知安町にかかわるトンネル 工事も具体的になってきました。</p> <p>1、原発事故の時の避難計画は。 2、外国人観光客が増えていく中で外国人向けの周遊券の需要も増えて いますがこの取り扱いは。 3、枝葉がなく幹だけで地域の発展がなされるのでしょうか。 4、近距離の利用に不便になるのでは、特に通学や通院。 5、工事に関わる工事車両の通行や残土処理に問題はないか。</p>	町長	
11	〃	観光行政について	<p>倶知安町の観光を冬季中心だけでなく、オールシーズンの取り組みが求 められます。</p> <p>1、エリアマネジメント条例の廃止が必要では。 2、駐車場などを含めた全体の構想はどうなっていますか。 3、国民・町民の財産である国定公園であることを踏まえたうえでの町 の考えは。 4、ニセコひらふ地区の町内会活動の問題に対する対応は。 5、倶知安町の夏の観光は取り組みが遅れています、どうしますか。 6、東急の社員を町職員として採用すると聞いていますが、その意図す るところはどこにあるのでしょうか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
12	坂井 美穂	災害に強いまち倶知安を目指して	<p>8月に6つの台風が北海道に上陸や通過、接近し、甚大な被害をもたらした。</p> <p>この脅威を胸に刻み、想定外だったでは済まされない災害対策・体制づくりが重要では。</p> <p>特に今回の災害では、高齢者ら災害弱者をいかに守るかが重要な課題とされた。</p> <p>改正災害基本法では、避難時の要支援者の名簿作成が義務づけられているが現在までの取り組み状況を伺う。</p> <p>また、災害発生時には、地域住民の手助けが不可欠であり、日頃の訓練を通しての協力体制、ネットワークづくりが重要となるが、当町での取り組みを伺う。</p> <p>1級水系尻別川をかかえる当町としては、豪雨などが発生した場合、避難勧告の発表から避難所の開設、災害派遣要請など自治体取るべき防災行動計画「タイムライン」の策定を急ぐ必要があり、ハード面では、地域防災センターの整備も急務であると思われるが、町長の考えを伺う。</p> <p>豪雨による土砂災害危険箇所をどのように想定されているかもお示しいただきたい。</p> <p>また、子どもたちにも防災意識を高めてもらうことも大切と思われる。</p> <p>小学生は「自分を守る」、中・高生は「居住地域の防災の担い手」としても今後期待されると思うが、教育現場での取り組みを教育長に伺う。</p>	町長 教育長	
13	〃	食品ロス削減について	<p>日本の食料自給率は約4割だが、食べられるのに捨てられる食品ロスは年間約632万トンと推計されており、その削減が喫緊の重要課題とされている。</p> <p>そこで、今後、わが町として食品ロス削減に取り組んでいけることがないかを町長に伺う。</p> <p>また、学校等における食育・環境教育など食品ロス削減に向けた取り組みをして行くことができないかを教育長に伺う。</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
14	門田 淳	①新幹線整備に関わる町有地活用について	<p>3月26日、北海道新幹線が開業し、14年後の札幌までの延伸、倶知安駅の開業を見通したまちづくりで、今後、新幹線建設のために移転を余儀なくされる方々が多数いる中で、町内への移住を進める為の具体策について町長にお伺いします。</p> <p>①町内への移住を進める為の具体策について。  ②旧胆振線跡地活用の考えは。(別紙資料参考)  ③高齢者住宅施策はどうするか。</p>	町長	
15	〃	②教職員住宅について	<p>①教職員住宅の現時点の入居率は何%か。  ②本町に居住している教職員数と教職員住宅の充足率をどのように考えているのか。  ③既に耐用年数を経過している住宅はどれくらいあるのか。また、今後の改築の予定をどのように考えているのか。  ④教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書の教育施設の整備では、教育関係者による評価等でCと評価されたがどのように考えているのか。</p>	教育長	
16	〃	③行政改革について	<p>行政改革について町長にお伺いします。</p> <p>①部長制を廃止したが、これまでのメリットとデメリットの検証を伺う。  ②2人副町長制とし、1人は役場内の取りまとめ役、1人は町民の声を町政に反映させる役とする公約の考えは今も変わらないのか。</p>	町長	



番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
17	門田 淳	④ふるさと納税について	<p>ふるさと納税について町長にお伺いします。</p> <p>①次年度に向けて予算をつけて返礼品カタログでPRしては。  ②地域おこし協力隊との連携は出来ないか。  ③返礼品がスタートして、返礼品業者への支払いの総額と内訳について。</p>	町長	
18	〃	⑤子育て支援策や若い世代への予算配分を	<p>①中学校卒業までの医療費を公約通り無料にしたが、高校卒業までの医療費を無料にする考えはないか。</p> <p>②明るい未来に向かう若い世代への子育て支援・住宅支援予算を多く配分し、定住人口増加施策の一つと考えられないか。</p>	町長	
19	古谷 眞司	災害時における役場機能の維持について	<p>先日は台風10号により多くの自治体が被災しました。そのような現状を考えると、我が町に於いても何時如何なる災害が発生してもおかしくない状況です。</p> <p>本年5月に新たな「倶知安町地域防災計画」が策定され、5月30日の町防災会議にて承諾を得ています。災害が発生した際、役場は災害対応の主体として重要な役割を担っています。そこで役場庁舎及び機能の継続について伺います。</p> <p>①地震及び水害が発生した場合に役場本庁舎が被災する可能性はどのくらいありますか。  ②本庁舎が被災した場合、役場機能をどのように維持されますか。  ③その為の訓練等は実施されていますか。  ④平成27年5月に内閣府（防災担当）より、「市町村のための業務継続計画作成ガイド」が示されています。本町としての取り組みはされているか。  ⑤通常時、災害時に町民、来町者への周知はどのようにしますか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
20	古谷 眞司	教育行政について	<p>平成 27 年度事業に対する、自己点検・評価報告書が先般報告されました。そこで教育行政及び評価について伺います。</p> <p>①教育委員会では「倶知安町総合計画」をもとに「倶知安町社会教育中期行政計画」が策定されていますが、学校教育における中期行政計画はありますか。</p> <p>②自己点検・評価報告書に於いて、社会教育関連も評価されていますが、「倶知安町社会教育中期行政計画」の評価はどのように反映されていますか。</p> <p>③事業評価は、達成率により A～C に評価されていますが、達成率の根拠となる数値的基準はありますか。</p> <p>④報告書前文に「この評価は、来年度へ改善や工夫を要する事項」と記されていますが来年度（28 年度）にどのように反映されていますか。26 年度評価で教職員住宅の維持管理で C であり、27 年度においても C であるにも関わらず、現状維持となっているのはなぜですか。</p> <p>⑤教育費予算の状況が報告されているが、評価がありません。事業の中で評価されている事と思いますが、予算執行にかかる全体的な評価は必要ないのでしょうか。</p>	教育長	
21	木村 聖子	町営住宅整備について	<p>住民の福祉向上は、行政の永遠のテーマと言えます。そこで町営住宅の整備計画について町長に伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. お風呂が設置されていない町営住宅の整備見通しは。</li> <li>2. お風呂がない世帯に対する入浴施設利用の支援策は。</li> <li>3. 単身者の受け入れ態勢と単身者向け住宅の促進策は。</li> </ol>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
22	木村 聖子	地域スポーツ活性化の取り組み	<p>平成23年スポーツ基本法が施行されて以来、本町においてもスポーツ実施率を高める取り組みを進められてきたことと思います。</p> <p>一方、ニセコ山系は、スキーをはじめとするウィンタースポーツでは海外からも認知されている中、グリーンシーズンにおいてもスポーツを観光資源としたスポーツツーリズムにより集客を維持し、各企業の安定的な経済活動、通年雇用の促進を図ることが重要となっているところです。</p> <p>そこで下記の点について、町長のお考えをお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多様化する地域スポーツの環境整備。</li> <li>2. スポーツコミッションによるスポーツツーリズムの更なる推進。</li> <li>3. スポーツボランティア制度の確立。</li> </ol>	町長	
23	作井 繁樹	一、有資格者確保など本町独自の雇用対策	<p>本町においても様々な分野で有資格者確保が喫緊の課題であることは言うまでもない。元来、労働行政は国の責任において成されるべきものとされてきた、今後も国への働き掛けを更に加速させなければならないのは当然ながら、同時に、本町独自の雇用対策も重要と考える。以下、認識と見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、有資格者不足の現状 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本町行政 本町行政（役場職員）における有資格者不足の現状認識。</li> <li>(2) 町内の業界 町内の業界（職種）における有資格者不足の現状認識。</li> </ol> </li> </ol> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏 名	質 問 件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者	メ モ
(23)	(作井 繁樹)		<p>前頁より</p> <p>2、具体的な対策</p> <p>(1) 業界からの要望と対処法 業界からの要望（要請）内容と、要望への対処法は、見解を。</p> <p>(2) 検討している具体的な対策 有資格者不足の現状を鑑み、本町として独自に検討している具体的な対策は、見解を。</p> <p>3、新たな対策</p> <p>(1) 資格取得・更新の負担軽減策 資格取得を志す町内居住者（町内居住を希望する者）への資格取得補助や給付型奨学金、また、更新に伴う費用への補助など、負担軽減策を拡充すべき、見解を。</p> <p>(2) 試用期間の賃金補てん 有資格者の早期離職に伴う雇用主のリスク回避策として、試用（仮採用）期間の賃金を補てんすべき、見解を。</p> <p>(3) 町外からの新規採用者への住宅手当補てん 町外から町内への居住を希望する有資格者を、新規で採用する際の雇用主の負担軽減策として、住宅手当を一定期間補てんすべき、見解を。</p> <p>4、条例などの見直し 実現可能な新たな対策を早急に検討し、奨学金給与条例や企業振興関係条例などの相互補完関係を整え、有資格者確保など雇用対策の視点で関連する条例、規則、仕様書などを、今一度見直すべき、見解を。</p>		

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
24	作井 繁樹	二、2026年「北海道・札幌冬季五輪パラリンピック」実現への環境整備	<p>本年第2回定例会にて『2026年「北海道・札幌冬季五輪パラリンピック」招致に関する決議』が議決された。五輪の札幌招致、アルペン競技のニセコ誘致、関連施設整備、競技団体への支援、選手の育成、そして何より町民の理解を深め協力を得るべく取り組みを加速させなければならないと考える。昨年の2定6月議会でも一般質問しているが、改めて進捗状況と見解を伺う。</p> <p>1、協議の進捗状況</p> <p>(1) 行政機関 札幌市は当然ながら、国、道、ニセコ観光圏など行政機関との協議の進捗状況。</p> <p>(2) 関係団体 JOC（日本オリンピック委員会）、SAJ（全日本スキー連盟）など関係上部団体との協議の進捗状況。</p> <p>(3) 地元関係者 東急リゾートサービスをはじめとする索道会社、商工会議所、観光協会、体育協会、スキー連盟など地元関係者との協議の進捗状況。</p> <p>2、経費と諸問題</p> <p>(1) 招致並びに誘致活動費 招致並びに誘致活動に掛かる経費については本年度予算に計上されていない、どのように対処するのか、見解を。</p> <p>(2) 全体予算総額並びに地元負担 五輪開催の概算総事業費は約4,000億円とも言われているが、全体予算総額並びに地元の負担割合（負担額）など開催経費に関する見解を。</p> <p>(3) 会計の明確化 招致並びに誘致活動経費も含めた会計の明確化は必須、特別会計をつくるなど一括管理を行い、関連事業を継続事業として年度ごとの収支を明確化すべき、見解を。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(24)	(作井 繁樹)		<p>前頁より</p> <p>3、その他の環境整備</p> <p>(1) 要望書の文言整理 北海道新幹線札幌延伸並びに国道 5 号倶知安余市道路などの要望書に、『招致に関する決議』の趣旨を踏まえた統一文言を盛り込むなどの文言整理を行うべき、見解を。</p> <p>(2) ムードづくり 先月、名寄市が「選手強化に貢献したい」として JOC オリンピック支援自動販売機を設置、苫小牧市も設置予定とのこと。ムードづくりの一環として本町も設置を要望すべき、見解を。</p> <p>(3) 「後志」→「NISEKO」 来訪者的にはニセコ町？倶知安町？虻田郡？後志総合振興局？とややこしく、通称の「ニセコエリア」に法的根拠はない。一例として平成 22 年の道の改組に伴い、「網走」支庁は冠を初のカタカナ表記「オホーツク」総合振興局、連携地域の名称へと改称した。「後志」も 100 年の節目は越え、リニューアルのタイミングとしても悪くはない。連携地域の名称であり、知名度も桁違い、過去の歴史に起因する住民感情にも配慮し、初のローマ字表記「NISEKO」総合振興局へと改称とすべく関係機関に働きかけるべき、見解を。</p>		
25	山田 勉	新幹線トンネル工事に伴う残土運搬に対する対応について	<p>新幹線二ツ森トンネル（鹿子）の説明会が 8 月 24 日文化福祉センターにおいて、工事関係事業所主体で開かれました。</p> <p>この中で、残土の運搬経路や一日の運搬台数など、比羅夫側の羊蹄トンネルと合わせて約 150 万 m<sup>3</sup>の残土が町営花園牧場へ 6 年間に亘って搬入される等について説明があったが、住民に周知が十分されなかったことから、20 名程度の参加であり、また、運搬経路の周辺住民への説明も不十分な状態であります。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(25)	(山田 勉)		<p>前頁より</p> <p>地先である北部地区営農地帯の道路状況は、近年大型化している農業機械にとっても狭いものとなっており、今後一日100台もの大型トラックが往復すると、春秋の農作業繁忙期には営農に支障をきたすことが予想されます。説明会においては、回避所の造成等についての話もありましたが、細部の打合せがなされない中での説明会となっています。</p> <p>残土運搬のための町道の補修や改修等については、事業者により行われるものと思いますが、管理する町として交通安全対策や営農対策等についてどのように関っていくのか、今後の町の対応について伺う。</p>		
26	〃	町営温泉について	<p>高齢者や冬期間除雪作業のため早朝から仕事をされる方々は、気軽に通える近くの温泉を求めています。</p> <p>近隣町村では直営で温泉が運営されており、毎日多数の住民に利用され、本町の住民の方も利用しております。</p> <p>本町には民営温泉もあるが、多くの町民は近隣のような町営の温泉を求めています。町長の見解を伺います。</p>	町長	
27	田中 義人	山田地区での町有財産の処分等について	<p>近年、不動産開発で沸く山田地区、いわゆるニセコひらふ地区の町有地が議決を必要としない範囲で、町長の判断で売却や交換などが活発に行われている。</p> <p>今後の地域開発の方向性に関わる重要な事項であり、情報を公開しながら進めるべきと考える。下記について伺う。</p> <p>1 平成25年度にHirafu Capitalに売却した字山田204番地23、21の一部、30の一部について、契約更改はどうなっているのか。</p> <p>2 平成26年10月27日に覚書で交わされた字山田171番地の一部と河川敷地4373㎡の等積交換の進捗状況は。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(27)	(田中 義人)		<p>前頁より</p> <p>3 今後、売却や交換など予定している土地はあるのか。</p>		
28	〃	ニセコひらふ地区第一駐車場の再開発について	<p>ウェルカムセンターがあり、国際リゾートとしての玄関となっている町有地、第一駐車場の整備について、町長はニセコ東急リゾートから開発の提案も受けていると公の場で何度か発言されている事から、以下について町長に伺う。</p> <p>1 6月には東急本社から役員が来庁し、再整備に関する提案を受けたと聞いている。その内容、経緯はどういうものだったのか。</p> <p>2 関連して、他の町有地を売却、開発するなどの対応は必要ないのか。</p> <p>3 倶知安町としての考え方は。</p> <p>4 社会資本整備総合交付金事業の計画にも関わる。国際リゾート都市づくり検討会へも含め、情報の公開はいつ、どのように行うのか。</p> <p>5 今後、関連した人事や予算計上はあるのか。</p>	町長	
29	榎 政信	一般質問に対する町長答弁の取り組み状況を問う	<p>定例会における議員からの一般質問に対する町長の答弁に対し、その後の対応や取り組み状況について、お伺いいたします。</p> <p>まず、「町長の答弁」は、町行政の執行機関として、町長だけではなく、担当課との調整も行われた執行者として責任ある回答であると思っています。町長答弁は、重いものですし、責任を持ち、誠意を持って対応・実行すべきものと思いますが、町長のお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>そこで、これまでの町長答弁に対する取り組み状況について確認をさせていただきます。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	



番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(29)	(榊 政信)		<p>前頁より</p> <p>①農業の担い手育成について。農業戦略係により農業を楽しくするための施策を立案し、具体的な手法を示して進めるとのことでした。</p> <p>②都市公園のトイレなどの環境整備について。全体的な公園のあり方の整備計画を精査する中で対応していく。また、公園情報などのソフト面についても、充実したものに对应するとのことでした。</p> <p>③景観地区の自然景観について。建築物の高さ制限が規定されていない花園ビレッジ地区においても、町としてのコンセプトの高さはこうあるべきだと示し協議する。早急にしていかねばならないとのことでした。</p> <p>④木材利用検討推進会議の設置について。早急に組織を編成し、地域材を利用する調査・検討をするとのことでした。</p> <p>⑤情報共有と住民参加のルール化について。総合政策課が担当してマニュアルを策定する。9月までにはちゃんと作り、一日も早く決めて、皆がそれに則って事務事業を進めるのが望ましいとのことでした。</p> <p>いずれも前向きな答弁をしていただきました。取り組み状況を具体的にお聞かせ下さい。</p>		
30	〃	水資源保全の取組み	<p>本町には、尻別川より羊蹄山側の3ヶ所の水資源保全地域が指定されております。しかし、尻別川のニセコアンヌプリ側にある水源には地域指定が掛けられておりません。</p> <p>これまで一般質問や予算審議において、新たな水資源保全地域指定や町独自の自主条例制定に向けた提言や提案が幾度となく行われてきました。福島前町長時代には、研究課題から検討を整理するために、26年度中に取り組んでいくとの答弁もありました。</p> <p>しかし、本年度に入っても、まだ現況の把握も十分に行われていないとの事です。</p> <p>水資源保全全国自治体連絡会にも加盟している本町ですので、水資源の重要性については、十二分に認識されていると思います。</p> <p>そこで、今後の水資源保全の取組みについて、具体的にお聞かせ下さい。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
31	阿部 和則	土地ミックスについて	<p>平成 25 年に宅地分譲が始まった旧白樺団地跡地は、当初売れ行きが心配されたものの、このところの住宅需要の高まりと土地の安さから 18 区画中 16 区画が売約済みとなりました。16 区画の売約価格の合計は 6,360 万円となり、インフラの整備費をカバーするとともに定住人口の増加に貢献しています。しかも、建設業者を町内に限定していますから、その経済的波及効果は多大なものがあります。</p> <p>平成 24 年に宇山田 204 番地の土地は 2 億 500 万円で売却され、その後、ひらふ中核施設の建設基金となったのは記憶に新しいところです。</p> <p>わが町では空前の建設ブームが起きています。個人や企業が必要とする土地を提供し、それを元手に次の施策の展開を図ることが可能な状況下にあります。財政にゆとりのない中で具体的なまちづくりを進めるには、新たな財源を確保しなくてははいけません。町有遊休地を必要な人や企業に売却し、その益金でまちづくりに必要な土地を確保する「土地ミックス」を積極的に進めるべきと考え以下の質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 給食センターや 3 保育所の跡地も含めた町有遊休地を新たな分譲地として活用する計画はありますか。</li> <li>2. 駅周辺のまとまった民有地を先行取得し、再開発の拠点とすべきと思いますがいかがですか。</li> </ol>	町長	
32	阿部 和則	新しいキャッチコピーについて	<p>「スキーの町」宣言文は、昭和47年に宣言式が行われた時に作られ、わが町のキャッチコピーとして長く町民に親しまれてまいりました。時代は変わり、14年後には新幹線の開業、高速道路の開通を迎えることとなり、2026年、北海道・札幌冬季五輪パラリンピック招致も動き始めております。新時代を迎えるにあたり、町民が未来に希望を抱き、町内外にも倶知安町をPRするためにも新たなキャッチコピーが必要と思いますがいかがでしょうか。</p>	町長	